



# ヨーロッパのネット最新情報をキャッチ MILIA 2001 レポート

ヨーロッパのインターネット事情というのはなかなか耳に入っていないが、日本以上に先進的な取り組みが行われている。フランス・カンヌで毎年開催されるインタラクティブコンテンツのトレードショー、MILIAが、ヨーロッパのインターネットの動きを伝える展示会へと変化している。そこでこのMILIAの最新レポートをお伝えする。編集部



## 話題の中心は ブロードバンド

前半はカンファレンス中心のTHINK.TANKサミット、後半は展示会と二部構成となっているMILIAだが、今回はTHINK.TANKサミットの最終日と展示会の初日に参加することができた。

MILIAといえば、CD-ROMやビデオゲームといったいわゆる“コンテンツ”中心の展示内容のイメージが強いかもしれないが、話によれば、ここ数年インターネット向けのソリューションにフォーカスしてきているのだという。

事実、「ブロードバンドインターネット」「インタラクティブTV」「ワイヤレスメディア」といったわれわれにはお馴染みのキーワードが並んでいた。

## ビベンディが メディア戦略を発表

THINK.TANKサミットの最後を締めくくるキーノートスピーチには、昨年、ユニバーサルグループを傘下に持つシーグラムを買収し、一躍世界の大メディア企業となったビベンディユニバーサルのCEO ジャンマリー・メシエ氏（写真左下）が壇上にあがった。

傘下に放送・通信、音楽、出版、映画などの企業を持つ同社の動きについて、メシエ氏はこの場でそのいくつかを発表している。

出版部門のビベンディユニバーサルパブリッシングによる、教師・親・生徒を結ぶ教育ポータル“education.com”の発表がその1つだ。また、音楽分野ではユニバーサルミュージックとソニーミュージックの共同による音楽配信事業“デュエット”の話題に触れ、PCだけでなくモバイル端末やテレビ用のセットトップボックス（STB）など多様なデバイスへの配信をアナウンスしている。

このSTBについては、「2001年末にはハードディスクを内蔵したものを提供する」ことで、同社のCATV部門のカナルプリユスなどで映画の配信も開始するという。週に数本の映画がハードディスクに保存されることで、「まるでSTB内にDVDのカatalogを持つようになる」とメシエ氏は語っている。さらに配信する映像をパーソナライズすることによって「ユーザー自身の番組表を持った“My TV”を実現する」のだという。

## ヨーロッパは インタラクティブTV先進国

メシエ氏の言う新しいテレビの世界は日本ではまだ先の話に思えるが、ヨーロッパでは現実のものとなりつつある。その兆しを見せる物のひとつとして、MILIAの展示会場がそれを

物語っている。

仏カナルサテライトや仏TPSといったデジタル衛星TVによるインタラクティブなコンテンツについては、日本でも一部報道はされているが、仏NPTV、伊TV files、英NDSをはじめとする多数のインタラクティブTVのシステム提供企業の多さには驚かされる。

ユーザーの要求に応じて番組内にテキストによる付加情報や、1番組に複数の映像を同時に放送できるこういった仕組みは、CATVや衛星の放送として現実に使われているものだ。まだ実験段階ではあったが、中にはテレビ画面でオンデマンドで見ていた番組を途中で終了させて、続きを映像配信対応の携帯電話で見られるものもあった。

一方、ADSLのようなインターネットのインフラを利用したIPベースのインタラクティブTVのモデルも登場している。英Yes Televisionはその1つで、専用のセットトップボックスを使い、ADSLやケーブルをインフラとしてビデオオンデマンド(VOD)やインターネット接続を実現している。すでに英国でプリティッシュテレコムと共同でADSLを使ったサービスを開始し、オーストラリアでも現地のケーブルや電話会社と共同で同様の事業を始めているという。

## ネット世代ゲームが おもしろい

教育コンテンツやエンターテインメントコンテンツなどの小さなブースが多数あるのもMILIAの魅力だ。かつてのCD-ROMコンテンツがインターネットにシフトしてきているのもおもしろい現象だった。

中でも異彩を放っていたのがゲームやデザインのクリエイター集団cHmAnが提供するFlashベースのウェブ上ゲーム“Banja”だ。このロールプレイングは、ユーザー同士がチャットを行いつつ、ゲームを進めるごとにコンテンツを少しずつダウンロードする仕組みだ。また、毎月、機能やゲームのシチュエーション(エピソード)がアップデートされて常にユーザーが楽しめる仕掛けも持つ。まさにインターネット向きな仕上がりとなっている。

展示会場のオープン日にはジョスバン仏首相が顔を出すなど、フランス国内だけでも注目度は高いMILIA。50か国から参加者があったというから世界の目がここに注がれていることは間違いない。

USのマーケットが勢いを失ったいま、MILIAをはじめとしたヨーロッパの動きにも目を向けなければならないだろう。

## ネットイヤーグループが 見たMILIA2001

日本のSIPSとして、唯一MILIAに視察に訪れたネットイヤーグループCSOの鈴木貴博さんに、SIPSとして今回のMILIAをどう見たかをうかがった。

「MILIA全体としては、コンテンツからストラテジックな話題に変化してきている。セビエントやアクセンチュアといったビジネス志向の企業がスポンサーを務めているところからも、その一片が見て取れた。

THINK.TANKサミットの初日には、ブロードバンドと高速無線ネットワークについての議論があったが、ブロードバンドについては、現在、考えられているキラーアプリケーションが実現するには6Mbpsぐらいのインフラが必要なのではないかという話だった。日本ではxDSLの議論が盛んだが、欧米では本格的なブロードバンドはFTTHが前提になっているということだろう。一方でブロードバンドコンテンツへ投資した先行組みが倒れてきている。その中でブロードバンド向けのコンテンツとしては、コミュニティーを形成するような“ゲーム”がキーとなるのではないかとされている。

いずれにせよ、最終的にはかつてのポケベルのように、若い世代がマーケットを作るようになるのではないかと、それは未知数だ」



1. ADSL、CATVでIPベースのインタラクティブTVを実現する“Yes Television”のテレビ画面。  
[www.yestv.co.uk](http://www.yestv.co.uk)
2. フランスのCATV会社、カナルプラスのインタラクティブTVのテレビ画面。  
[www.canalplus.fr](http://www.canalplus.fr)
3. テレビにも携帯電話にもシームレスに映像を配信できる(写真は映像対応のSAMSUNG製携帯電話試作機)。
4. モトローラのJava対応携帯電話試作機。400KBまでアプリケーションを配信できる。
5. ロールプレイングゲームのBanja  
[www.banja.com](http://www.banja.com)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)